

相手を思いやる気持ちをもって

次に紹介するような場面に出会ったことはないでしょうか?LGBTQの多くの人は、さまざまな悩みを抱え、困難に直面しています。悪意のない言葉でも、意図せず誰かを傷つけているかもしれません。

◆友人同士の会話で…



◎多様性を認める表現を使いましょう

恋愛対象は異性だけとは限りません。「彼氏」、「彼女」といった性別を限定する言葉ではなく、多様性を認める表現を使えると良いでしょう。また、異性愛を前提とした話題も、相手を知らずに傷つけてしまう場合があります。

【表現の例】

- ・彼氏、彼女 → 恋人、パートナー
- ・息子さん、娘さん → お子さん
- ・男らしい、女らしい → ○○さんらしい

◆窓口や受付などで…



◎性自認が見かけの性別と異なる人の存在や実情を理解しましょう

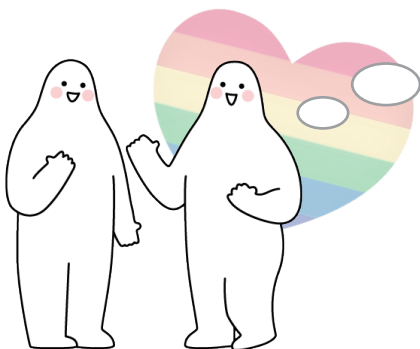
窓口対応や受付時に、名前や容姿で判断することのないように気を付けましょう。書類に記載されている氏名や性別と、本人の服装や容姿などから受ける印象により、本人かどうか確信が持てないときは、生年月日や住所などで確認するという工夫をしましょう。

打ち明けられた時は(カミングアウト)

カミングアウトとは、自分の性のあり方(性的指向や性自認など)について、自分の意志で誰かに打ち明けることです。カミングアウトされた場合、

- 最後まできちんと話を聞く
 - 「話してくれてありがとう」と伝える
 - 性のあり方を決めつけない
 - 「どうして伝えてくれたのか」「何に困っているのか」を聞く
- など、相手に寄り添うことを心がけましょう。

また、誰かの性のあり方について、本人の同意なく第三者に暴露することを、**アウティング**と言います。相手をひどく傷つけ追いつめてしまう行為ですので、絶対にやめましょう。



カミングアウトをしている場合でも、特別扱いをしてほしいと思っているわけではなく、前と変わらず同じように接してほしいと感じている人も多いよ

性の多様性について正しく理解し、多様性を尊重しあえる社会の実現に向けて自分たちに何ができるかを一緒に考え、できることから行動していきましょう

特集1 誰もが自分らしく、生き生きと暮らせるまちへ ～多様な性のあり方について、考えてみよう～

問 市 人権政策課 ☎53-5167 図 53-5148

「男らしく」、「女らしく」といった言葉を、誰もが一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。私たち人間は、一人ひとり顔や性格、考え方が違うように、性のあり方も多様です。異性だけを好きになる人、同性だけを好きになる人、心と身体の性が一致せず、悩みを抱える人もいます。

今回の特集では、グラデーションのように多様な私たちの性のあり方を紹介します。誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまち、多様性を尊重しあえる社会をつくるために、私たちにできることは何でしょうか?一緒に考えてみましょう。



▲伊吹山テレビはこちら
(7月11日号)

性的マイノリティとは

性的マイノリティとは、性的指向(好きになる性)が同性(または両性)に向いている人、「からだの性」(戸籍上の性)と「こころの性」(自認する性)が異なる人をいいます。性的マイノリティの総称の1つとして**[LGBTQ]**があります。

◆LGBTQってなあに?

Lesbian

レズビアン

女性を好きになる女性(女性の同性愛者)

Gay

ゲイ

男性を好きになる男性(男性の同性愛者)

Bisexual

バイセクシュアル

男性女性、どちらの性も好きになる人(両性愛者)

Transgender

トランスジェンダー

からだの性とこころの性が異なる人

Questioning

クエスチョニング

自分の性のあり方がわからない、決めていない人

一人ひとりの性のあり方は多様

性のあり方は、次の4つの要素で考えることができます。

表現する性

服装やしぐさ、言葉づかいなど性別をどう表現するか

性自認

自分の性をどう認識しているか

性的指向

恋愛・性愛がどういう対象に向かうか

からだの性別

からだ(出生届・戸籍上)の性

一人ひとりの姿かたちが違うように、自分の表現の仕方も、だれかを想う心の形も、人それぞれなんだね